

エコチルひょうご通信



新年にあたって



エコチル調査兵庫ユニットセンター長
島 正之

新年あけましておめでとうございます。

日頃よりエコチル調査に対して多大なご協力をいただき、誠にありがとうございます。

今年は年明け早々に能登半島地震や羽田空港での航空機衝突事故などの大きな災害がありました。被害に遭われた方々には心よりお見舞い申し上げます。

既にご案内のとおり、エコチル調査はお子さんが13歳になるまで追跡する予定でしたが、13歳以降も調査を継続することになり、小学6年生のお子さんから順次調査の継続についての説明と同意のお願いを進めております。

エコチル調査で得られた研究成果としては、これまでに全国で400編を超える原著論文が発表されております(兵庫ユニットセンターからは16編)。本年も引き続き調査の円滑な実施と研究成果の発信に努め、安心して健やかに生活することのできる環境づくりに貢献したいと考えておりますので、引き続きご指導、ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

本年が皆さまにとりまして、実り多い素晴らしい年となりますようお祈り申し上げます。



第5回ひょうごユース eco フォーラム



2023年12月23日(土)、デザイン・クリエイティブセンター神戸にて行われた「第5回ひょうごユース eco フォーラム」に参加してきました。今回のテーマは『ともに拓くひょうごの環境』～脱炭素、生物多様性、資源循環の社会を子ども達とつくるために～でした。このフォーラムは、若者世代による環境保全・創造活動の活性化を通して将来社会の担い手を育成するために、兵庫県が主催し、県内の高校生と大学生が企画・運営等への参画のもとで開催されています。

環境問題の解決に取り組む学生やNPO法人など44団体、約200名が参加し、概要は日ごろの活動内容の発表報告やポスター展示、グループディスカッションが行われました。エコチル調査兵庫ユニットセンターからもスタッフが参加し、調査の実施状況やこれまで得られた研究成果の紹介を行いました。展示に興味を持って下さる方も多く、「意義のあることだ」とお声をかけてくださる場面もありました。グループディスカッションでは、テーマである「脱炭素、生物多様性、資源循環」はすべて繋がっているという結論になり、1人1人が意識を持つことの大切さを学びました。



13歳以降も「エコチル調査」が継続となります。



「エコチル調査」は、子どもの健康や成長に影響を与える環境要因を明らかにし、子どもたちがすこやかに成長できる環境、安心して子育てができる環境の実現を目指す国家プロジェクトとして、2011年度に始まりました。この調査は、当初はご参加いただいているお子さんが13歳に達するまでの計画としておりましたが、このほど13歳以降も調査を継続することが決まりました。みなさまのご協力により多くの研究成果が報告され、社会貢献度が高いプロジェクトとして認められたためです。これまでいただいた情報を生かしつつ、思春期以降の健康などについても、調査研究を続けることになりました。



2024
新年号

【編集・発行】兵庫医科大学 エコチル調査兵庫ユニットセンター

〒663-8501 兵庫県西宮市武庫川町1番1号 ☎0120-456-019

MAIL: ecochild@hyo-med.ac.jp URL: <https://www.ecochil-hyogo.jp/>

